

産業建設常任委員会会議記録
(条例等審査)

1. 日 時	令和5年12月1日 9時30分開会 令和5年12月1日 14時03分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	大西基雄委員長、森本富夫副委員長、栗山泰三委員 堀毛宏章委員、渡辺拓道委員、山田潔委員、小島政行議長
4. 欠席議員	なし
5. 参考人	なし
6. 傍聴人	なし
7. 会議に付した事件	議案第72号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 議案第73号 令和4年度丹波篠山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
8. 議事の経過	<p>開会 9:30 大西委員長 開会宣告 大西委員長 あいさつ</p> <p>■日程第1 議案第72号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について</p> <p>上下水道部</p> <p>【主な説明】 経営企画課 議案説明資料により説明</p> <p>【主な質疑】 森本副課長 厳しい環境の中、努力をいただいておりますことに敬意を表したいと思います。経営戦略における数字と、今回、計上いただいた数字と比較して、長期的に安定な安心した経営に結びついているか確認をしておきたいと思います。</p>

上下水道部	<p>経営戦略につきましては、平成 29 年 2 月に策定し、平成 28 年度から平成 37 年度までを期間としています。この平成 29 年 2 月時点の経営戦略による収支見通しでは、令和 4 年度の利益の予定額は 2 億 8,741 万 1,000 円を見込んでいましたが、今回の利益が 2 億 4,200 万円ということで、社会変動などの関係で金額に変動はありますが、概ね予定どおりに進んでいると考えます。</p> <p>今後の見通しにつきましては、今後 10 年を見据えて、計画を改定しているところです。</p>
森本副委員長	<p>課長からコメントがありましたら、追加でいただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。</p>
上下水道部	<p>同じような意見ですけれども、現在、経営戦略を見直しており、支出が増えて収入が減っているような状況にありますので、厳しい状態は今後も続いていくと思います。今の世界情勢が今後どうなっていくかを注視しつつ、何とか現在の料金体系を維持して経営できるようにしていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。</p>
森本副委員長	<p>ほぼ 1 年前に、一般質問で取上げさせていただいたように、一般会計は借金が減っていますが、二つの企業会計は非常に厳しく、また今後も厳しい状態が続きますので、その二つの企業会計が安定をしてこそその丹波篠山市が安心して住める、環境につながると思いますので、堂々と必要なことは主張していただき、健全経営にお努めいただきますようお願いをしておきます。</p>
<p>■ 日程第 2 議案第 7 3 号 令和 4 年度丹波篠山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について</p>	
<p>【主な説明】</p>	
<p>経営企画課 議案説明資料により説明</p>	
<p>【主な質疑】</p>	
森本副委員長	<p>水道についてもお伺いしましたが、下水道について、経営戦略と比較してどうなのか。長期的な展望を含めてご説明をお願いしたいと思います。</p>
上下水道部	<p>下水道事業につきましては、平成 29 年 2 月に策定した時は特別会</p>

計でした。今回、経営戦略を見直していますが、令和元年に公営企業会計に移っており、収支の表し方が違うため比較ができません。しかしながら、下水道事業会計につきましても、水道事業会計同様に収入が減り支出が増えていますので、厳しい状態は変わりません。また下水道事業会計につきましては、基準外の一般会計繰入金が多いため、一般会計に負担をかけている部分があります。現在、経営戦略を見直す中で、何とかその基準外が減らせるように考えています。処理区の統廃合等を進めることによって、支出の削減を進め、一般会計の負担を減らせるように取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

森本副委員長

都市部と違って、丹波篠山市は100m行って家が1件、50m行って家が1件、マンションなど、とてもではないけれどありませんし、公営企業会計の中で、一般会計からの繰入金がなかったら下水道は成り立たない。1番困るのは市民ですから、本当に今、策定中の長期計画については、しっかりと人口減を見据えて策定いただき、やはり一般会計からの繰入れもなければやっていけないということ、大きく前面に押し出して企業会計の安定をお願いしたい。それが長期的には丹波篠山のためになると思いますので、よろしくお願いいたします。

渡辺委員

減債基金について、今回は残高がいくらになる予定でしょうか。

上下水道部

議案第73説明資料を御覧いただきますと、1ページ目の減債積立金の積立てという表がございまして、そこに処分後の残高を2億7,300万円と記載しています。

上下水道部

下水道事業について補足ですけれども、その積立てについて、今は、一旦、利益が出たら積立てて、その翌年にはもう充てていまして、下水道会計では、その状態を繰り返させていただいております。一方で、水道会計につきましては、減債積立金の残高は5億3,800万円、建設改良積立金の残高は2億8,600万円です。

■議員協議

— 意見等なし —

■表決

議案第72号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第73号 令和4年度丹波篠山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

— 討論なし・全員賛成で可決 —

大西委員長 委員会審査に係る会議録の作成及びの審査報告については、委員長・副委員長に一任願いたい。

— 異議なし —

■その他

森本副委員長 あいさつ

閉会 14:03